



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 株式会社 紀陽銀行

上場取引所 東

コード番号 8370 URL <http://www.kiyobank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 片山 博臣

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 鈴木 教秀

TEL 073-426-7133

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	55,810	—	11,314	—	9,382	—
25年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 12,458百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	136.09	—
25年3月期第3四半期	—	—

(注1) 平成25年3月期第3四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。

(注2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注3) 当行は、平成25年10月1日に親会社であった株式会社紀陽ホールディングスを吸収合併しており、株式会社紀陽ホールディングス普通株式10株につき当行普通株式1株の割当てを行いました。1株当たり四半期純利益については、当連結会計年度の期首に当該割当てが行われたと仮定して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,045,710	182,152	4.4
25年3月期	3,921,351	177,766	4.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 179,367百万円 25年3月期 176,178百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当行は、平成25年10月1日に親会社であった株式会社紀陽ホールディングスを吸収合併しておりますので、配当実績は株式会社紀陽ホールディングスの配当金を記載しております。

なお、当該合併におきまして、株式会社紀陽ホールディングス普通株式10株につき当行普通株式1株の割当てを行いました。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,200	△13.8	11,500	△57.8	8,200	△54.8	117.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当行は、平成25年10月1日に親会社であった株式会社紀陽ホールディングスを吸収合併しておりますので、対前期増減率は株式会社紀陽ホールディングスの平成25年3月期の通期連結業績と比較しております。

なお、当該合併におきまして、株式会社紀陽ホールディングス普通株式10株につき当行普通株式1株の割当てを行いました。1株当たり当期純利益については、当連結会計年度の期首に当該割当てが行われたと仮定して算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	73,399,948 株	25年3月期	66,959,556 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	818,327 株	25年3月期	0 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	68,941,179 株	25年3月期3Q	66,959,556 株

(注) 当行は、平成25年10月1日に親会社であった株式会社紀陽ホールディングスを吸収合併しており、株式会社紀陽ホールディングス普通株式10株につき当行普通株式1株の割当てを行いました。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数については、前連結会計年度の期首に当該割当てが行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当行は、平成25年10月1日に当行を吸収合併存続会社、親会社であった株式会社紀陽ホールディングスを吸収合併消滅会社として合併しており、当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、連結経営成績(累計)の平成25年3月期第3四半期は記載していません。

【添付資料】

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

※平成26年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、低金利の状況が続く中、貸出金や有価証券の運用環境が低迷する一方、株式相場が堅調に推移し、投資信託の販売増加や、保有有価証券の減損処理が発生しなかったこと、また、与信関連費用の発生も非常に低い状況となったことなどにより、経常収益は558億10百万円、経常費用は444億96百万円、連結経常利益は113億14百万円となり、連結四半期純利益につきましては、93億82百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産が4兆457億円、純資産が1,821億円となりました。

貸出金につきましては、前連結会計年度末比68億円減少の2兆5,690億円となりました。

預金・譲渡性預金につきましては、個人預金や法人預金を中心に増加し、前連結会計年度末比878億円増加の3兆6,763億円となりました。

また、有価証券につきましては、前連結会計年度末比1,478億円増加の1兆1,324億円となりました。

(注) 当行は、平成25年10月1日に親会社であった株式会社紀陽ホールディングスを吸収合併しておりますが、上記増減金額については、合併前の株式会社紀陽銀行連結計数と比較しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表しました連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
現金預け金	187,899	221,233
コールローン及び買入手形	110,000	50,000
買入金銭債権	941	838
商品有価証券	1,415	1,365
有価証券	984,622	1,132,459
貸出金	2,575,933	2,569,095
外国為替	2,103	2,464
その他資産	27,285	31,509
有形固定資産	33,202	34,019
無形固定資産	6,221	10,178
繰延税金資産	5,657	4,061
支払承諾見返	13,467	13,082
貸倒引当金	△27,398	△24,597
資産の部合計	3,921,351	4,045,710
負債の部		
預金	3,536,422	3,617,524
譲渡性預金	52,042	58,782
債券貸借取引受入担保金	73,918	98,557
借入金	24,505	21,696
外国為替	11	47
社債	10,000	20,000
その他負債	31,880	32,828
退職給付引当金	31	31
役員退職慰労引当金	32	32
睡眠預金払戻損失引当金	732	619
偶発損失引当金	362	353
再評価に係る繰延税金負債	178	—
支払承諾	13,467	13,082
負債の部合計	3,743,585	3,863,557

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
資本金	80,096	80,096
資本剰余金	15,697	6,897
利益剰余金	57,830	68,103
自己株式	—	△1,077
株主資本合計	153,624	154,021
その他有価証券評価差額金	22,361	25,217
繰延ヘッジ損益	△134	128
土地再評価差額金	326	—
その他の包括利益累計額合計	22,553	25,346
少数株主持分	1,587	2,785
純資産の部合計	177,766	182,152
負債及び純資産の部合計	3,921,351	4,045,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
経常収益	55,810
資金運用収益	40,561
(うち貸出金利息)	31,146
(うち有価証券利息配当金)	9,124
役務取引等収益	8,450
その他業務収益	3,667
その他経常収益	3,130
経常費用	44,496
資金調達費用	3,259
(うち預金利息)	2,383
役務取引等費用	3,016
その他業務費用	3,936
営業経費	31,142
その他経常費用	3,140
経常利益	11,314
特別損失	46
固定資産処分損	12
減損損失	33
税金等調整前四半期純利益	11,268
法人税、住民税及び事業税	1,074
法人税等調整額	725
法人税等合計	1,800
少数株主損益調整前四半期純利益	9,467
少数株主利益	85
四半期純利益	9,382

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,467
その他の包括利益	2,990
その他有価証券評価差額金	2,727
繰延ヘッジ損益	263
四半期包括利益	12,458
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	12,348
少数株主に係る四半期包括利益	109

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はございません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当行は、平成25年10月1日に当行を吸収合併存続会社、株式会社紀陽ホールディングスを吸収合併消滅会社とする合併を実施いたしました。当該合併は共通支配下の取引に該当するため、当第3四半期連結累計期間の株主資本の期首残高は、株式会社紀陽ホールディングスの連結期首残高となっております。そのため、当行の前連結会計年度の株主資本の連結会計年度末残高と当第3四半期連結累計期間の株主資本の当期首残高との間には連続性がなくなっております。

当第3四半期連結累計期間における株主資本の各項目の主な変動事由及びその金額は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高 (注) 1	58,350	47,947	61,165	△1,657	165,805
当第3四半期連結会計期間末までの変動額 (累計)					
剰余金の配当			△2,444		△2,444
四半期純利益 (累計)			9,382		9,382
自己株式の取得				△18,958	△18,958
自己株式の処分		36		199	235
自己株式の消却 (注) 2		△18,101		18,101	—
合併による増減 (注) 3	21,746	△22,985		1,238	—
当第3四半期連結会計期間末までの変動額 (累計) 合計	21,746	△41,049	6,938	580	△11,784
当第3四半期連結会計期間末残高	80,096	6,897	68,103	△1,077	154,021

- (注) 1. 「当期首残高」は、株式会社紀陽ホールディングス (連結) の期首残高を記載しております。
 2. 「自己株式の消却」は、平成25年9月5日に株式会社紀陽ホールディングスが第4回第一種優先株式 (公的資金優先株式) を自己株式として取得し、消却したことによる増減であります。
 3. 「合併による増減」は、平成25年10月1日に当行を吸収合併存続会社、株式会社紀陽ホールディングスを吸収合併消滅会社とする合併を実施したことによる増減であります。

平成 26 年 3 月期 第 3 四半期 決算説明資料

株式会社 紀陽銀行

【 目 次 】

1. 損益の状況

紀陽銀行〔単体〕1

【参 考】紀陽銀行〔連結〕2

2. 預金、貸出金の残高〔単体〕3

3. 預かり資産（投資信託・公共債・個人年金保険等）残高〔単体〕3

4. 自己資本比率〔連結〕〔単体〕3

5. 時価のある有価証券の評価差額〔単体〕4

6. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示〔単体〕4

（注1）記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

（注2）株式会社紀陽銀行は、平成25年10月1日に親会社であった株式会社紀陽ホールディングスを吸収合併いたしました。本資料におきまして、株式会社紀陽ホールディングスについては、「旧紀陽ホールディングス」と記載しております。

1. 損益の状況

(紀陽銀行単体)

(単位：百万円)

	平成26年3月期 第3四半期 累計期間 (a)	平成25年3月期 第3四半期 累計期間 (b)	比較 (a - b)	平成26年3月期 通期業績予想値
1 業 務 粗 利 益	39,374	45,031	△ 5,657	
2 資 金 利 益	37,187	37,969	△ 782	
3 役 務 取 引 等 利 益	3,128	3,156	△ 28	
4 そ の 他 業 務 利 益	△ 941	3,906	△ 4,847	
5 (うち債券関係損益)	(△ 1,066)	(3,655)	(△ 4,721)	
6 経費(除く臨時処理分)(△)	28,683	28,324	359	
7 一般貸倒引当金繰入額(△)	—	△ 1,565	1,565	
8 業 務 純 益	10,691	18,272	△ 7,581	
9 うちコア業務純益	11,757	13,051	△ 1,294	
10 臨 時 損 益	1,607	△ 2,094	3,701	
11 株 式 等 関 係 損 益	71	△ 382	453	
12 うち株式等償却(△)	—	297	△ 297	
13 不 良 債 権 処 理 額 (△)	1,871	3,478	△ 1,607	
14 うち貸出金償却(△)	1,597	1,326	271	
15 うち個別貸倒引当金繰入額(△)	—	1,909	△ 1,909	
16 貸 倒 引 当 金 戻 入 益	1,884	—	1,884	
17 償 却 債 権 取 立 益	665	645	20	
18 そ の 他	856	1,120	△ 264	
19 経 常 利 益	12,299	16,178	△ 3,879	12,500
20 特 別 損 益	△ 45	△ 19	△ 26	
21 税 引 前 四 半 期 純 利 益	12,254	16,158	△ 3,904	
22 法 人 税 等 合 計 (△)	1,399	4,945	△ 3,546	
23 法人税、住民税及び事業税(△)	711	632	79	
24 法人税等調整額(△)	688	4,313	△ 3,625	
25 四 半 期 (当 期) 純 利 益	10,854	11,213	△ 359	9,800
26 与 信 コ ス ト 総 額 (△)	△ 639	1,257	△ 1,896	

- (注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益控除後の業務純益です。
 2. 与信コスト総額は、与信費用(一般貸倒引当金繰入額+不良債権処理額)に貸倒引当金戻入益や償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。
 3. (△)は損失項目です。

当第3四半期累計期間の紀陽銀行単体ベースの経営成績は、資金利益が減少したことなどにより、コア業務純益は前年同期比12億円減少の117億円となりました。

経常利益については、上記に加え、債券関係損益が減少となる一方、与信コスト総額が減少したことなどにより、前年同期比38億円減少の122億円となりました。

また、四半期純利益については、前年同期比3億円減少の108億円となりました。

【参 考】

(紀陽銀行連結)

(単位：百万円)

	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期 連結累計期間 (a)	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期 連結累計期間 (b)	比較 (a - b)	平成 26 年 3 月期 通期業績予想値
1 連 結 粗 利 益	42,467	48,062	△ 5,595	
2 資 金 利 益	37,302	38,059	△ 757	
3 役 務 取 引 等 利 益	5,433	5,396	37	
4 そ の 他 業 務 利 益	△ 268	4,605	△ 4,873	
5 (うち債券関係損益)	(△ 1,066)	(3,655)	(△ 4,721)	
6 営 業 経 費 (△)	31,142	30,533	609	
7 一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (△)	—	△ 1,596	1,596	
8 株 式 等 関 係 損 益	93	△ 382	475	
9 不 良 債 権 処 理 額 (△)	2,846	4,804	△ 1,958	
10 うち貸出金償却 (△)	2,565	2,453	112	
11 うち個別貸倒引当金繰入額 (△)	—	2,103	△ 2,103	
12 貸 倒 引 当 金 戻 入 益	1,258	—	1,258	
13 償 却 債 権 取 立 益	1,033	1,113	△ 80	
14 経 常 利 益	11,314	15,435	△ 4,121	11,500
15 特 別 損 益	△ 46	△ 43	△ 3	
16 税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	11,268	15,392	△ 4,124	
17 法 人 税 等 合 計 (△)	1,800	5,290	△ 3,490	
18 法人税、住民税及び事業税 (△)	1,074	995	79	
19 法人税等調整額 (△)	725	4,295	△ 3,570	
20 少数株主損益調整前四半期純利益	9,467	10,101	△ 634	
21 少 数 株 主 利 益	85	88	△ 3	
22 四 半 期 (当 期) 純 利 益	9,382	10,012	△ 630	8,200
23 与 信 コ ス ト 総 額 (△)	593	2,084	△ 1,491	

(注) 1. 平成 25 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間については、旧紀陽ホールディングスの実績を記載しております。

2. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

3. 与信コスト総額は、与信費用 (一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額) に貸倒引当金戻入益や償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。

4. (△) は損失項目です。

2. 預金、貸出金の残高

(紀陽銀行単体)

		(単位：億円)			(単位：億円)
		平成25年12月末	平成24年12月末	前年同期末比	平成25年3月末
1	預金・譲渡性預金(末残)	36,897	35,394	1,503	35,991
2	うち預金	36,239	35,100	1,139	35,400
3	うち個人預金	27,247	26,838	409	26,587
4	貸出金(末残)	25,765	25,364	401	25,828
5	うち消費者ローン	8,883	8,898	△ 15	8,884
6	うち住宅ローン	7,676	7,671	5	7,652

3. 預かり資産(投資信託・公共債・個人年金保険等)残高

(紀陽銀行単体)

		(単位：億円)			(単位：億円)
		平成25年12月末	平成24年12月末	前年同期末比	平成25年3月末
1	投資信託残高	1,619	1,563	56	1,687
2	公共債残高	358	423	△ 65	399
3	投資信託・公共債合計残高	1,977	1,987	△ 10	2,086
4	個人年金保険等	2,962	2,750	212	2,812

(注) 個人年金保険等は、販売累計額を記載しております。

4. 自己資本比率

(紀陽銀行連結、国内基準)

		(単位：億円)		(単位：億円)
		平成25年12月末(A)	平成25年9月末(B)	比較(A)-(B)
1	自己資本比率	11.12%	10.57%	0.55%
2	Tier1比率	8.50%	8.33%	0.17%
3	自己資本額	2,004	1,910	94
4	うちTier1	1,532	1,507	25
5	リスクアセット等	18,014	18,072	△ 58
6	総所要自己資本額	720	722	△ 2

(注) 当行は、平成25年10月1日に親会社であった株式会社紀陽ホールディングスを吸収合併いたしました。
平成25年9月末は株式会社紀陽ホールディングス連結(第二基準)の実績を記載しております。

(紀陽銀行単体、国内基準)

		(単位：億円)		(単位：億円)
		平成25年12月末(A)	平成25年9月末(B)	比較(A)-(B)
1	自己資本比率	10.75%	9.80%	0.95%
2	Tier1比率	8.22%	7.65%	0.57%
3	自己資本額	1,927	1,762	165
4	うちTier1	1,474	1,375	99
5	リスクアセット等	17,923	17,969	△ 46
6	総所要自己資本額	716	718	△ 2

5. 時価のある有価証券の評価差額

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成 25 年 12 月末			平成 25 年 3 月末		
	評価差額	評価差額		評価差額	評価差額	
		うち益	うち損		うち益	うち損
1 満期保有目的 (注3)	△3	1	4	△12	1	14
2 その他有価証券	363	383	19	329	365	35
3 株式	153	160	7	85	99	13
4 債券	95	97	1	127	127	0
5 その他	75	85	10	71	93	21
6 (注4)	39	39	—	44	44	—
7 総合計	360	384	23	317	367	50

(注1) 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権も含めております。

(注2) 時価のある子会社・関連会社株式はございません。

(注3) 平成 25 年 3 月末において、満期保有目的として保有する変動利付国債の一部については、合理的に算定された価額により評価しております。

(注4) 変動利付国債の保有目的区分変更 (「その他有価証券」から「満期保有目的」へ) により発生した評価差額を記載しております。

6. 金融再生法ベースの категорияによる開示

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成 25 年 12 月末	平成 25 年 3 月末
1 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	196	200
2 危険債権	603	649
3 要管理債権	95	66
4 小計	895	917
5 (合計債権残高に占める比率)	(3.43%)	(3.50%)
6 正常債権	25,177	25,226
7 合計	26,073	26,143

以 上